

第1回実力テストの見直し法

本日、第1回実力テストの結果を模範解答と一緒に返却しています。テストは、返却後が一番大切です。自分の答案と模範解答を見比べて、どこがどのように間違ったのか見直したり、問題のどこを読み間違えてしまったのか確認したりしておくことが大切です。問題用紙は、きちんと保管してあるでしょうか。家に帰ったら、次のことに取り組みましょう。

- ① 間違えた問題を問題と解答を見ながら正しい解答を記入する。
ただ丸写しするのではなく、なぜ間違えたのか考えながら解き直しましょう。
- ② 「ケアレスミス」と「理解不足のミス」を色分けして✓をする。
「ケアレスミス」なのか「分からなかった」のかは重要です。「分からなかった」問題は特に見直しと復習を何度も行いましょう。見えるところに貼るのも良いです。ケアレスミスはなくせるはずですが、次回絶対ケアレスミスをしない！と自分を奮い立たせるためにも✓は必要です。
- ③ 教科ごとに苦手な単元や問題を確認する。
勉強したのにできなかった問題はありませんか。それは勉強の仕方が中途半端だった可能性があります。教科ごとに苦手な問題をリストアップしておき、夏休みの学習計画に組み込みましょう。また、苦手な教科であっても、必ずどこかできる単元があるはずですが、そこを強みにすることも点数を上げるポイントです。あきらめず、粘り強く取り組んでいきましょう。

ケアレスミス
= 得点にできる問題

第1回進路希望調査について

実力テストを返却すると同時に、第1回進路希望調査用紙を配付しています。進路希望調査の目的は、①担任の先生に自分の希望進路を知ってもらうこと②自分の進路について真剣に考え家族と話し合うきっかけとすること③懇談で話し合いを円滑に進め、今後の進路計画を柔軟に考えられようによることです。高校コード表と記入例を見ながら、提出期限を厳守してください。締め切りは7月9日(水)です。進路関係の提出物は、期限厳守をお願いします。進路決定までは、志望校が変わることもあると思います。変更することも、しっかりと考えられている証拠です。今現在行きたい！と思う高校の名前を「どうせ無理」と思わずに、記入しましょう。1学期の成績は、まだ決定していません。それどころか、これから(今週の金曜日から)、1学期の期末考査です。まだまだ挽回可能です。頑張る姿を、先生たちは見えています。

専願と併願について

進路希望調査の私立高校の欄に「専願・併願」とあります。(他県では、専願を単願ともいいます)



「専願」とは、合格した場合必ず入学することを約束して受験する方法です。併願よりも出願基準が有利な場合が多く、入学後の特典がある場合もあります。

「併願」とは、私立高校に合格しても、その後実施される公立高校を受験することができ、公立高校に合格すれば私立高校に進学しないという受験方法です。

公立高校にも、普通科以外の科には「特別入試」があります。

「特別入試」とは、私立の「専願」と同じように、合格した場合必ず入学することを約束して受験する方法です。「特別入試」を受験し、内定をもらった場合は合格した私立高校への入学手続きをすることも、他の公立高校を受験することもできません。公立高校は、合格したら必ず入学することを前提として受験するので、「専願」「併願」という区別はありません。

つまり、私立を「専願」(第1希望)にしない場合は、公立が「専願」扱い(第1希望)になるということです。高専の場合も同様です。どの場合も入試日程によって進路計画は異なります。各学校(各県)の入試要項をよく読んで、今後の進路計画を立てていきましょう。そのためにも、オープンスクールや進路説明会に参加したり、各学校のHPを確認したりして情報を集めておきましょう。県外受験を希望している方は、受験校の情報を早めに担任に伝えてください。



用紙をなくしたら…西中HPへ

倉敷市立西中学校



学校説明会やオープンスクール情報、パンフレットと紙が束になっているのではないのでしょうか。面倒でも、すぐに捨ててしまわず1枚1枚確認しておきましょう。高校のパンフレット等は高校のHPにPDF化されたものが掲載されている場合が多いです。「進路だより」や「進路希望調査」等の進路に関する情報は、西中学校のHPに掲載しています。なくなったり、書き損じたりした場合はHPからダウンロードしてご活用ください。